

## 令和8年度 高等部 指導の方針と重点

### 教育目標

### 校訓 「強く 明るく 仲良く」

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を行うことにより、一人一人の可能性を最大限に伸ばす。さらに、「強く 明るく 仲良く」生きようとする意欲を高め、一人一人の自立と社会参加を目指し、基礎的・基本的な力を身に付け、「生きる力」を育む。

### 指導の方針

#### 【願う姿】

- ・自ら考え、自ら学ぶ意欲や態度をもつ。
- ・働くことに喜びを感じ、自己の将来を拓く。
- ・お互いの良さを認め合い、仲間と協力して活動する。

- ・個々の実態を的確に捉え、職員間で共通理解を深めて指導内容・指導方法を工夫し、主体性を育む。
- ・社会の一員として自立するために必要な勤労観や協働の意識を育成する。
- ・社会の中の様々な事柄と関連付けながら、自ら活用できる能力を育成する。

#### スローガン「働く人になろう」

### 指導の重点

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の習得と自ら学ぶ意欲・態度の育成
  - (1) 自らの安全を守るとともに、適切な判断と行動を選択できる力の育成
  - (2) 体験的な学習や探究的な学習を重視し、主体的に学びを深める機会の充実
  - (3) ICTを活用した学びの工夫と、一人一人の多様な学びを支える環境の充実
  - (4) 基本的生活習慣の確立と自立につながる生活態度の形成
  - (5) コミュニケーション能力の伸長、情報リテラシーの育成
- 2 職業観、勤労観の育成
  - (1) 社会の一員としての自分の生き方を考える学習活動の展開
  - (2) 職場見学、現場実習、インターンシップ、校内作業実習の充実
  - (3) 作業製品販売会等への計画的な取組み
  - (4) 作業学習における働く力、考える力の育成及び協働の意識の醸成
- 3 創意ある教育課程の編成
  - (1) 自分らしく安定して生活する力を育てるための教育課程の研究
  - (2) 長時間の作業学習を支える教育課程の創意工夫
- 4 保護者・地域社会・関係機関との連携強化
  - (1) 保護者への情報発信と授業参観・懇談機会の充実
  - (2) MSL 活動や現場実習等を通して地域の中で育ち、地域に貢献する活動の充実
  - (3) 関係機関（福祉・行政・医療等）と連携し、社会参加に向けた切れ目のない支援体制の構築